



三菱UFJニコスとグローバル金融グループのFEXCO 外貨建てによるカード決済サービスを開始！

～今後益々の増加が期待される訪日外国人、自国通貨でのカード決済が可能に！10月1日から～

三菱UFJニコス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:和田哲哉)とFEXCO Merchant Service(フェクスコ・マーチャント・サービス、本社:アイルランド、社長:ダーモット・オシェア、以下「FEXCO」)はこの度、訪日外国人を対象にした、日本国内における“外貨建てカード決済サービス”的提供で合意、10月1日からその取扱店舗の募集を開始します。

FEXCOは、アイルランドを本拠地に、世界26カ国(英国・豪州・ニュージーランド・香港・中国・シンガポール・米国など)に拠点を置くグローバルな金融サービスグループ。1996年に世界初となる外貨での決済サービス「DCC(ダイナミック・カレンシー・コンバージョン)決済サービス」の提供を開始し、今や加盟店は70,000を超え、35社以上の金融機関と提携、同決済分野での豊富な経験を有しています。

三菱UFJニコスとFEXCOは、FEXCOの外貨決済システムとネットワークを活用して、海外発行カード(VisaとMasterCard®)による自国通貨(米ドル、韓国ウォン、豪ドル、台湾ドル、ユーロなど10通貨)での“外貨建てカード決済サービス”を今般、共同で提供していくものです。

具体的に本サービスは、三菱UFJニコスのクラウド型マルチ決済システム「J-Mups(ジェイマップス)」に、新たにDCC(外貨決済)サービスの機能(アプリケーション)を追加することで実現(機能追加は無料)。既にJ-Mupsを設置している加盟店は機器の入れ替えをすることなく、本サービスの利用が可能です。

これにより、訪日外国人は、従来の円建て決済に加え、自国通貨建ての決済が選択可能となり、為替変動の心配をすることなく、利用時点の為替レートで支払金額を確定できるようになるものです。

三菱UFJニコスでは、今年著しく増加している訪日外国人の数が今後、益々拡大することを期待し、全国の量販店やホテル等に本サービスの採用を促し、導入一年で200店の獲得を目指しています。

＜サービス概要＞

- 対象取引: 三菱UFJニコスのカード加盟店(J-Mups導入店舗)における、海外発行のVisa、MasterCard®カード会員によるカード決済
- 対応通貨: 10通貨(米ドル、韓国ウォン、豪ドル、台湾ドル、ユーロ、香港ドル、シンガポールドル、英ポンド、タイバーツ、カナダドル)

以上

＜参考資料＞

【店頭取引/端末画面イメージ】

①対象カード判定



②説明内容表示



③確認画面



【利用者向け説明用レシート】



【売上票】

